

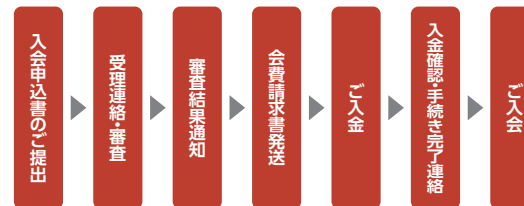
入会案内

ホームページに掲載の申込書にてお申し込みください。
以下の流れに沿って手続き進行の上、入会基準に照らして入会の可否をご連絡致します。

■会員区分と年会費

区分		正会員	賛助会員	賛同会員
会費	企業会員	50万円	5万円	なし
	団体会員	3万円	5千円	なし
	個人会員	1万円	5千円	なし
総会議決権あり		○	—	—
部会活動への参加		○	○	—
ロゴマークの使用		○	○	—
和食会議の情報提供が受けられる		○	○	○

■ご入会までの流れ



一般社団法人
和食文化国民会議
代表理事 会長 伏木 亨



平成25年12月、「和食:日本人の伝統的な食文化-正月を例として-」がユネスコ無形文化遺産に登録されました。
以来、私どもは農林水産省をはじめ、関係各省庁の協力を得て、その保護・継承を推進してまいりました。平成27年2月には、和食文化の保護・継承に責任を持つ唯一の民間団体として、より公的に責任を負うべく、一般社団法人としてスタートいたしました。現在、会員が主体となった『調査・研究』『普及・啓発』『技・知恵』の3つの部会と『全国「和食」連絡会議』が日々活発に活動を行っております。

地域の食に関わる団体、地方自治体、個人の皆様、日本の献立で食を支える食品メーカー、フードサービスなど、様々な企業の皆様にぜひ「和食会議」の趣旨にご賛同いただき、会員となって一緒に活動いただきますようよろしくお願い申し上げます。



和食文化国民会議
副会長 村田 吉弘
「菊乃井」主人
日本料理アカデミー理事長



和食文化国民会議
副会長 後藤 加寿子
料理研究家



和食文化国民会議
理事 服部 幸應
学校法人服部学園理事長



和食文化国民会議
理事 中澤 弥子
長野県立大学 教授

一般社団法人 和食文化国民会議

〒110-0015 東京都台東区東上野1-13-2 成田第2ビル4階B
Tel: 03-5817-4915 (平日9:00~17:00) Fax: 03-5817-4916
E-mail: info@washokujapan.jp

ホームページ

<https://washokujapan.jp/>



和食文化の素晴らしさを多くの人へ。和食会議の4つの活動。

「和食：日本人の伝統的な食文化－正月を例として－」がユネスコ無形文化遺産に登録され、和食文化の保護・継承に責任を持つ唯一の民間団体として、一般社団法人和食文化国民会議は設立されました。会員とともに具体的な活動を行うため、「調査・研究部会」「普及・啓発部会」「技・知恵部会」の3部会と全国「和食」連絡会議を設置し、日本人の伝統的な食文化である「和食」を大切に思う皆様とともに様々な活動を行っております。

【調査・研究部会】 部長 中澤 弥子

「和食」に関する調査・研究を行い、その成果に立った研究発表や書籍の刊行、和食文化に関する講演会や研修会の開催など、「和食」の調査・研究事業を担っています。

- 和食文化に関する全国的な調査、「和食」の歴史・地域特性・調理・機能等に関する研究
- 調査、研究の結果や成果の発表
- 教育機関や研究機関、地域の生涯学習の場などで活用できる和食文化に関する書籍の刊行



【技・知恵部会】 部長 村田 吉弘

実践による和食の調理技術の伝承、地域との交流による郷土食の発掘・発信など、「和食」の技術と知恵の伝承・発信事業を担っています。

- 「和食」の料理人等の技・知恵の実演を通じた「和食」の良さ、和食文化の粋の伝承
- 「和食」の料理人等の全国各地での交流および人材育成支援
- 伝統食材、それを使った郷土料理および地域に根付いた技・知恵の発掘・再発見とその紹介および発信



調査・研究部会

技・知恵部会

和食文化国民会議の4つの活動

普及・啓発部会

全国「和食」連絡会議

【普及・啓発部会】 部長 後藤 加寿子

「だして味わう和食の日」をはじめとする食育活動、「和食」に関する効果的なPR活動、講演会や会員間の交流会など、「和食」の普及・啓発事業を担っています。

- 「和食」の総合的な情報(食材、文化、郷土食、歴史、年中行事等)の発信
- 全国の小中学校、保育所等を対象とした「和食」食育活動の推進、および実践
- 全国各地の郷土食、伝統産業等の「和食」体験企画の実施
- 「和食」に関心を持つ多くの人を対象とした講習会等の開催



【全国「和食」連絡会議】 議長 服部 幸應

全国の和食関係者との情報交換や連携、会員内外との国民運動としての「和食文化」の交流事業などを担っています。

- 全国各地で「和食」の保護・継承に取り組む和食会議会員、全国の和食関係者の交流、およびそれぞれの取り組みの情報集約
- 集約した情報の幅広い発信と、国民運動としての「和食」の保護・継承の活性化



その他の取り組み

11月24日は「和食の日」の定着化

日本人の伝統的な食文化を見直し、和食文化の保護・継承の大切さについて考える日。

秋は「実り」の季節。「自然」に感謝し、五穀豊穡を祈る行事が全国各地で盛んに行われます。

日本の食文化にとって大切なこの秋の日に和食文化の保護・継承の大切さについて改めて考えてほしい、そのような願いから、11月24日を「いい日本食」「和食の日」と制定しました。



「五節供に和食を」の運動推進

子どもの成長や家族の幸せを願い、生命力に満ちた食物を味わい、邪気を祓う、古代から続く五節供。

先人の願い・祈りが込められた五節供に関する取り組みは、「和食文化の保護・継承」に繋がり、和食の持つ特徴の一つ「年中行事やしきたりとの密接なかかわり」を具現化するものです。



五節供に和食を

各種広報活動

- 公式ロゴマーク・スローガンの設定
共通シンボルとして機能するロゴマークと統一スローガンを設定しています。和食文化の保護・継承に関わる広報活動・事業活動などにご活用いただけます。



伝えよう、和食文化を。

- 公式ホームページの設置
会員の皆様との交流や広く国民に向けた発信の場として、ホームページを設置しています。各会員の活動を発信したり、開催されるイベントや各種誘致を行うなど幅広くご活用いただけます。

